

既存のアンケート調査の概要

1.川づくりの将来像についてのアンケート調査	H7.7～H7.8
2.揖保川の「川づくり」に関するアンケート調査	H 8. 7.14
3.川づくりへの参加に関する住民意識調査	H13.2.9～H13.2.28

1.川づくりの将来像についてのアンケート調査

(1)目的 建設省が平成6年8月に「揖保川中期整備試案」を公表し、今後の河川整備に反映させることを目的に、試案に対するアンケートを調査を実施した。

(2)実施日 平成7年7月～8月

(3)調査方法と回収率

対象	方法	実施日	配布	回収	回収率	備考
一般住民	大型スーパーの入口で河川愛護週間の街頭キャンペーンに合わせて実施。	H.7年7月	364	364	100.0%	
	姫路市、龍野市、太子町、揖保川町及び御津町の揖保川沿川各自治会へ依頼して回収。	H.7年7月～8月	5,220	4,186	76.0%	
			計5,584	4,550	81.5%	
オピニオンリーダー	各市町を通じて学識経験者、行政関係者及び商工会議所メンバーの中から推薦を受けた人を対象に各市町に配布を依頼し、建設省宛で郵送回収。	H.7年8月	115	70	60.9%	

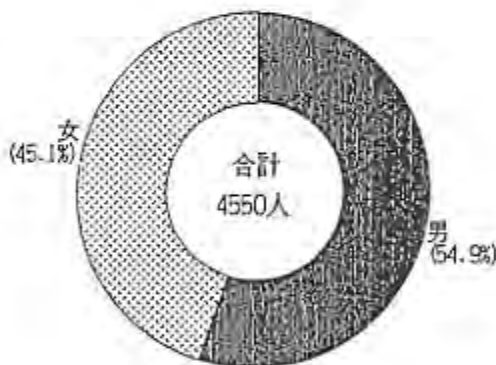
(4) 調査結果

1) 一般住民への調査結果

① 回答者の属性

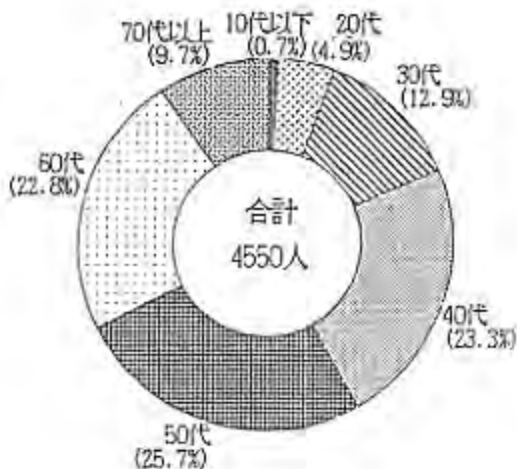
性別

男	2500
女	2050
合計	4550



年齢構成

10代以下	33
20代	222
30代	586
40代	1062
50代	1169
60代	1038
70代以上	440
合計	4550



職業

自営業	472
会社員	1390
公務員	182
学生	45
主婦	1448
無職	802
その他	211
合計	4550

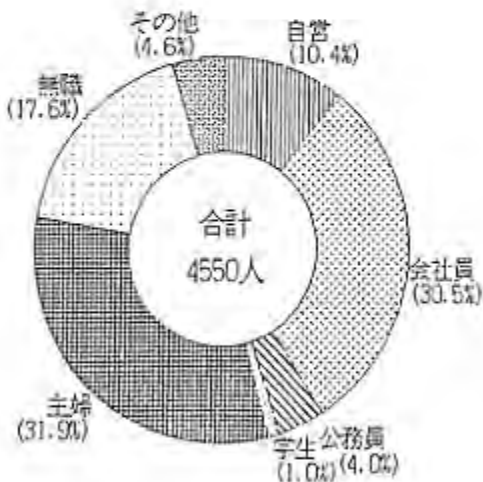


図3-1 回答者の属性(一般住民)

② アンケート回答の集計

質問(1)「最近の損保川の状況をどうお考えですか。はい、いいえどちらかに○を記入して下さい。」

	Yes	No	無回答
1. 洪水の心配なしに暮らせるようになった。	2840 人	1629 人	81 人
2. 川はもう子供の遊び場でなくなった。	4000	529	21
3. 川べりでは、昆虫や魚を見ることが少なくなった。	3554	947	49
4. ひとりに比べて川の水はずいぶんきれいになった。	2896	1562	92
5. 川辺の風景がひとりに比べて緑が多くなった。	1630	2832	88
	回収数	4550	

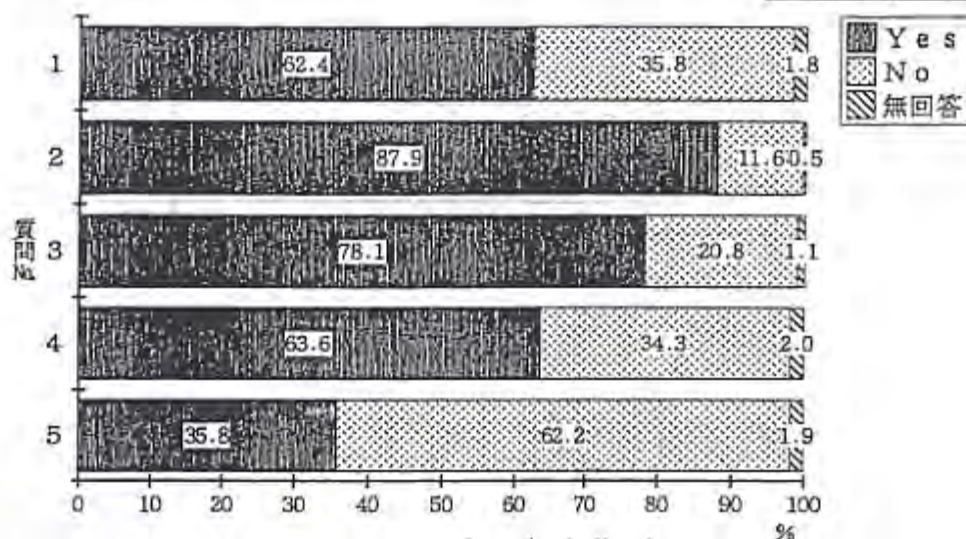


図 3-2 最近の損保川の状況 (一般住民)

質問(2)「損保川でやってほしいことをご選択下さい。(3つまで)」

1. 堤防をもっと丈夫にして洪水による被害が出るのを防ぐ。	1320 人
2. 家が水に浸かるのを防ぐためポンプを設置し雨水を川へ排出する。	606
3. 上流にダムを作って洪水の量を減らす。	443
4. コンクリート護岸一色ではなく、緑豊かな河川敷にする。	2761
5. 魚やトンボが住むのに適した川づくりをする。	2387
6. もっと河川敷で遊べるような川づくりをする。	2170
7. 水質浄化を行い、川の水をきれいにする。	2719
8. 地域の歴史が感じられる川づくりをする。	1202
9. その他	77
	回収数 4550

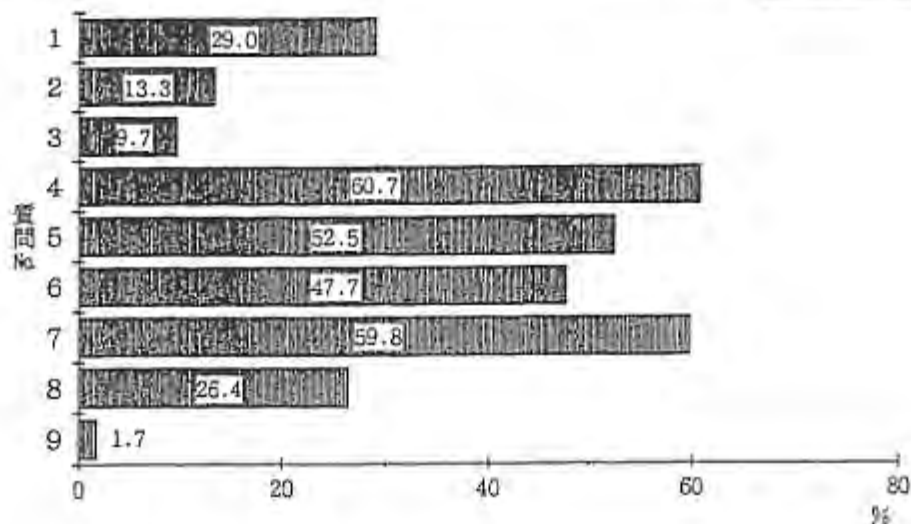


図 3-3 損保川でやってほしいこと (一般住民)

質問(3)「揖保川でのあなたの要望、ご意見をご自由にお書き下さい。」(図3-4参照)

(住民の方々に記入して頂いた自由なご意見を12項目に分類し、下の図3-4にまとめました。)

1. まったく洪水の心配がないよう講じてほしい。	100件
2. 中州の土砂を取り除いてほしい。	44
3. 揖保川の支川の改修をしてほしい。	19
4. ダムを建設し洪水、洪水に備える。	16
5. 水質を良くし水遊びができ魚やホタルが住めるようにしてほしい。	381
6. スポーツや散歩ができ子供が遊べる河川公園や無料駐車場を望む。	181
7. ゴミ、空き缶、糞などの対策を考えてほしい。	125
8. 自然を残し、人々が憩える河川敷や堤防にしてほしい。	199
9. 皮革排水対策をもっと徹底的に考えてほしい。	40
10. ヘドロの回収を早くしてほしい。	44
11. 堤防の道幅を広くしてほしい。	69
12. その他。	162
意見総数	1380

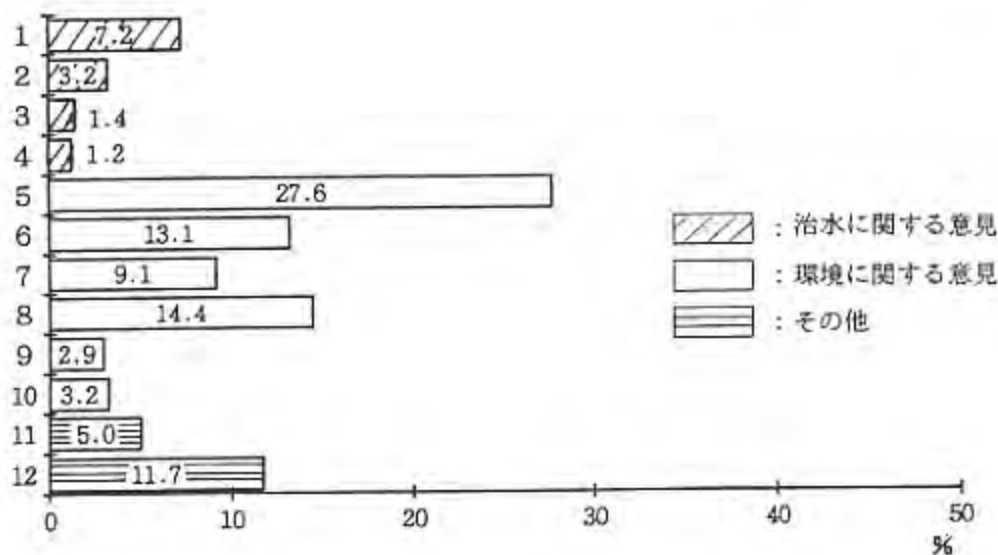
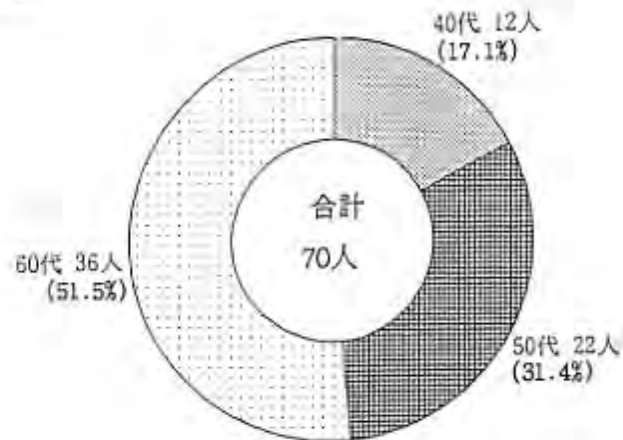


図3-4 揖保川でのあなたの要望・意見 (一般住民)

2) オピニオンリーダーへの調査結果 (揖保川)

① 回答者の属性

年齢構成



職業

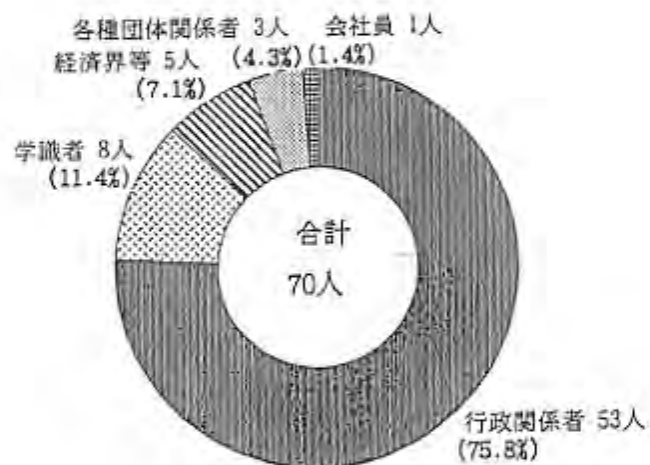


図3-5 回答者の属性(揖保川オピニオンリーダー)

② 回答の集計

オピニオンリーダーの方々に対するアンケートは、揖保川中期整備試案で掲げている各項目について賛否を含む自由なご意見を記入して頂く方式で実施しました。

以下の図では各質問毎に回答の傾向を分類したものです。(表3-1, 表3-2 参照)

質 問

「(1) 以下のように定めている長期にわたっての整備方針についてあなたはどうか、どう評価しますか。(必要・不要・追加事項等)についてご記入下さい、また、追加すべき整備方針等についてもご自由にご記入下さい。」

〈今後の長期整備方針〉	〈要・不要〉	〈主な意見・要望〉
①引堤及び無堤地区の築堤を行い、概ね30年の間に1回起こる可能性のある規模の洪水に対しても安全な河道整備を実施する。(64)	必要 (64) 不要 (0)	・河床の浚渫。 ・30年確率でなく、50年、100年確率対応の計画。 ・自然生態系や景観に配慮し引き続き実施。 ・河川の狭窄部の引堤計画。
②高潮対策、 内水対策実施(57)	必要 (57) 不要 (0)	・龍野市揖保町真砂地区の内水対策。 ・内水対策の中で、迅速な樋門操作や的確な排水ポンプの運転など自動運転設備の充実。
③水と緑を保全していくための多自然型川づくりを進めていく。(61)	必要 (61) 不要 (0)	・邪魔になる樹は生きたまま近くへ移植。 ・都市部と同様の河川敷公園や岸辺の護岸・堤防敷きの桜並木公園等、防災と憩いの場を兼ねそろえた川づくり。 ・水生生物や魚や鳥や水草などの生態系を中心に考えた川づくり。 ・地域住民の納得出来る多自然型川づくり。
④水質改善の実施。(64)	必要 (64) 不要 (0)	・ビニール等流さないような住民運動と行政指導。 ・公共下水道の早期完了。
⑤歴史や伝承を感じさせるデザインを河川施設に取り入れ沿川地域の拠点となるような整備を行う。(60)	必要 (56) 不要 (4)	・揖保川と地域の歴史が語り継がれるような整備。 ・人々が憩える付帯施設(トイレ、ベンチ、駐車場等)の整備。 ・河川文化拠点の早期整備。 ・周辺住民の意見を取り入れた整備。
⑥その他(44)		・個性ある堤防として生物生存をもっと考えるべき。 ・山陽自動車道揖保川大橋の下流の中州にある雑樹木の伐採 ・堤防沿いに桜の木を植えて地域住民が集まれる憩いの場。 ・大幅な予算増額の措置をし、地域の活性化を図る。 ・住民が河川ともっと親しめる方法を、住民と共に考える。 ・一宮まで上がって来れるような魚道の整備。

{ } は何らかの回答を得た人数

表3-1 今後長期にわたっての整備方針 … 揖保川オピニオンリーダー

質 問

「(2) 質問(1)の方針を実施するため2001年までを目標とした以下の事業の方針等について
意見をお書き下さい。また、他に優先すべき事業等がありましたら、その理由ととも
にお書き下さい。」

〈2001年までを目標とした事業〉	〈要・不要〉	〈主な意見・要望〉
① 揖保川本川、中川、元川の引堤。(45)	必要 (45) 不要 (0)	・自然石を使った堤防。 ・多自然型整備。
② 中流部の無堤防地区である下宇原地区の改築(34)	必要 (34) 不要 (0)	・築堤整備と堤内地の整備。
③ 林田川の無堤地区の築堤。(34)	必要 (34) 不要 (0)	・河川植物がいろいろ生育する河原の形成。
④ 栗栖川の引堤。(26)	必要 (26) 不要 (0)	・台風等の防風のため、竹藪を残す。 ・100年に一度の出水を想定して河幅をできるだけ広くする。 ・河川の未改修地区、特に新田山、段之上地区の改修。
⑤ 龍野市水防拠点。(29)	必要 (29) 不要 (0)	・周辺住民に対し利用への配慮。 ・各市町流域毎に水防拠点が必要。
⑥ 桜づつみモデル事業(余部千本松原)。(35)	必要 (35) 不要 (0)	・揖保川全体での整備推進。 ・年間を通して人々が川に親しめる設計。 ・その土地にあったものを植え、川の個性化を図る。 ・多自然型堤防。 ・トイレ等の付帯施設の設置。
⑦ その他。(47)		・揖保川上流部キャンプ場の付帯施設やトイレの設置。 ・地域にマッチした自然な河川整備。 ・河川の水辺部分の雑木の整備。 ・水辺まで安心して行ける道や階段、水辺の散歩道の設置。

() は何らかの回答を得た人数

表3-2 当面2001年までの整備について … 揖保川オピニオンリーダー

2. 揖保川の「川づくり」に関するアンケート調査

(1)実施日 : 平成8年7月14日

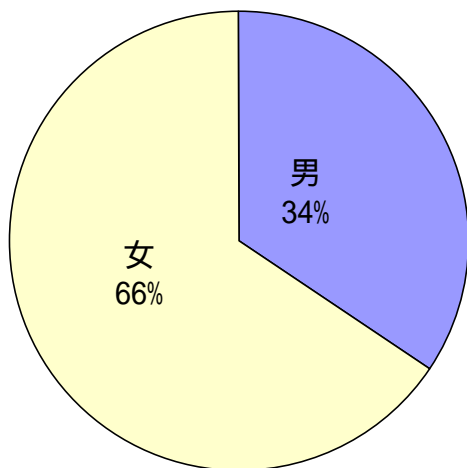
(2)実施方法 : 「川の日」制定記念講演会への参加者に対するアンケート調査

(3)調査結果

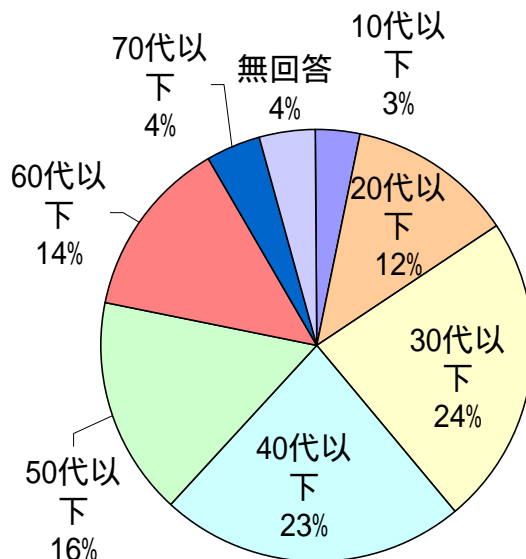
・回答者数 290人

・回答者の属性

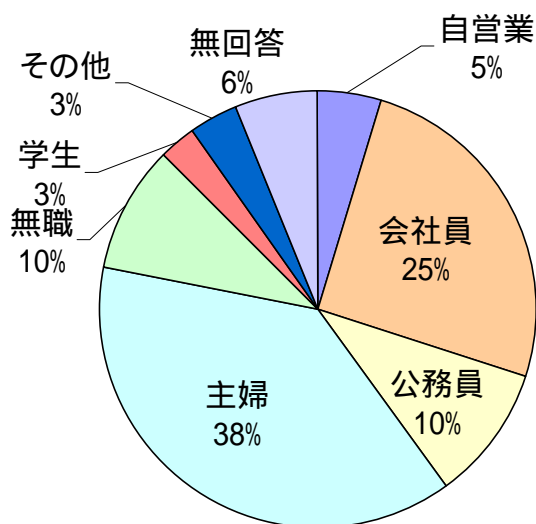
男女別



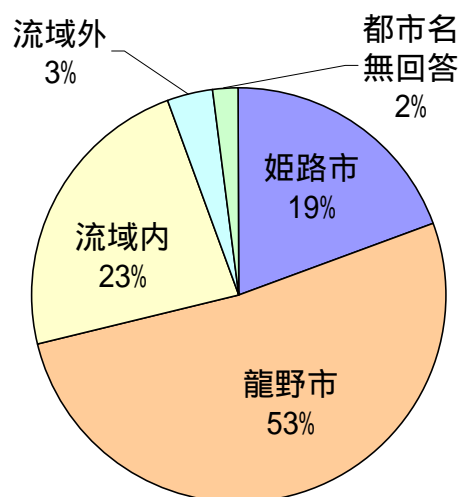
年齢別



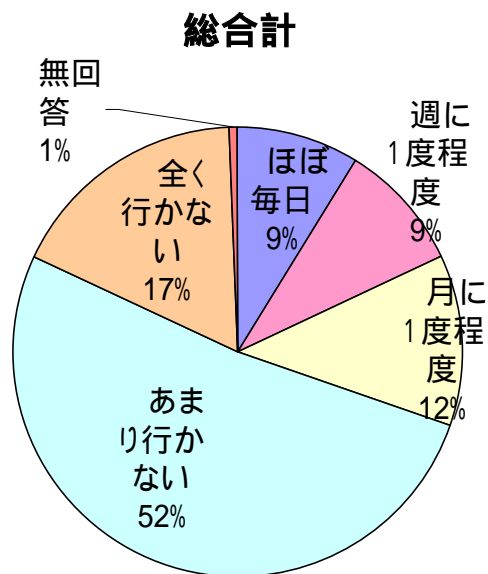
職業別



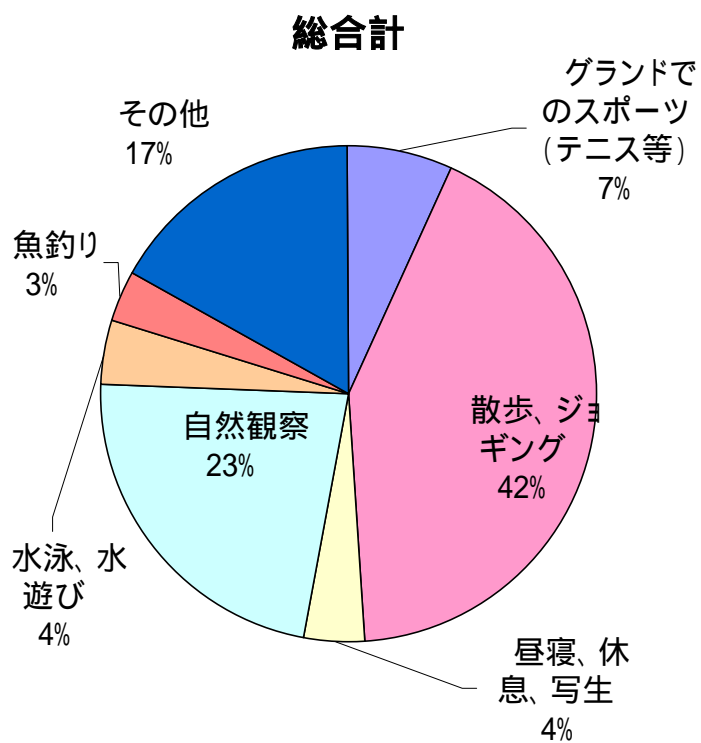
居住地別



・問1. 揖保川へは、どの程度いけますか。

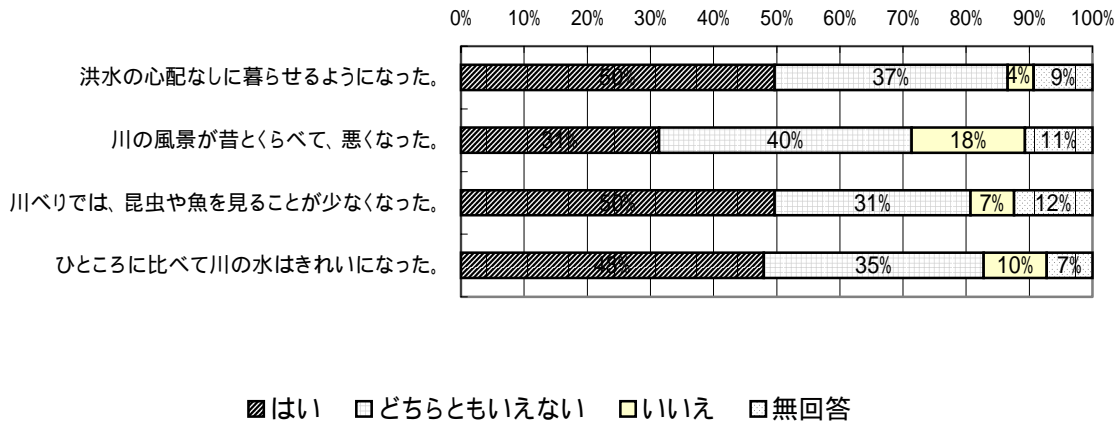


・問2. 揖保川に行かれるのは、どのような目的ですか。



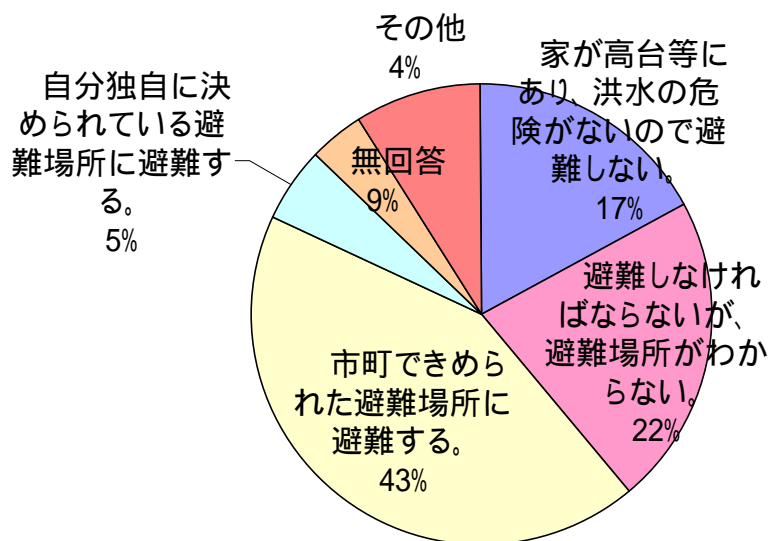
- ・問3. 最近の揖保川の現状を、ご自分の体験から、どうお考えですか。
「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のいずれかの答えを選んでください。

総合計



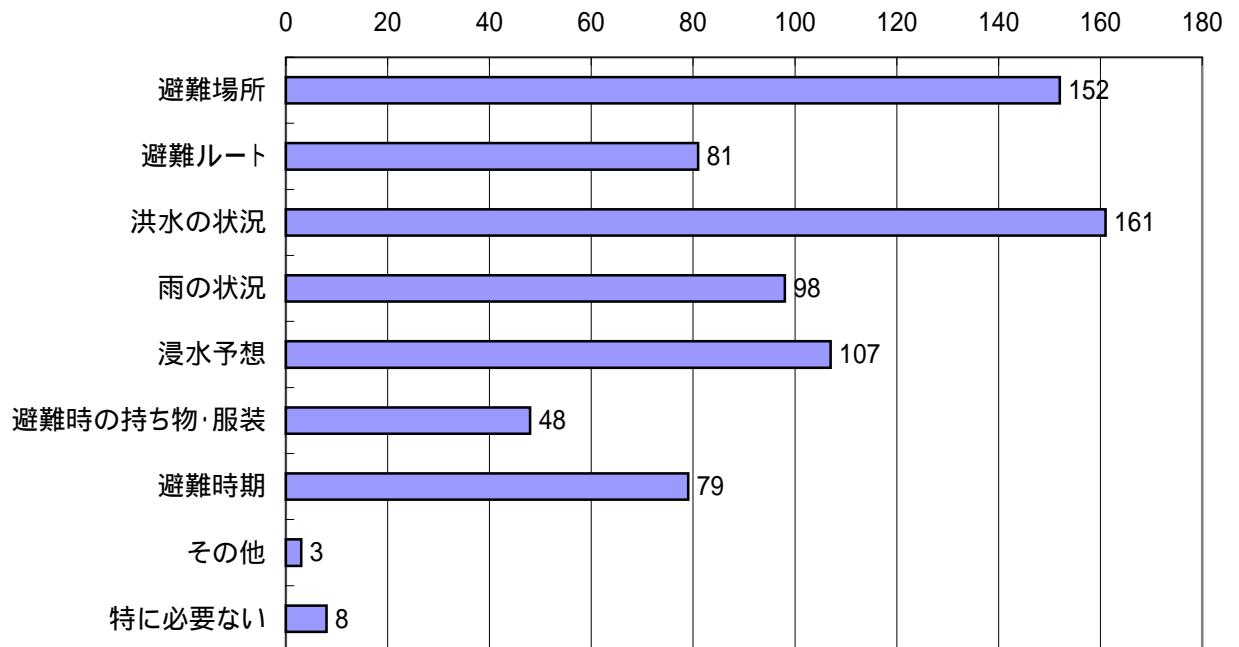
- ・問4. 揖保川及び他の河川で洪水により、堤防決壊の恐れがある場合、あなたは以下のいずれの項目に該当しますか。

総合計



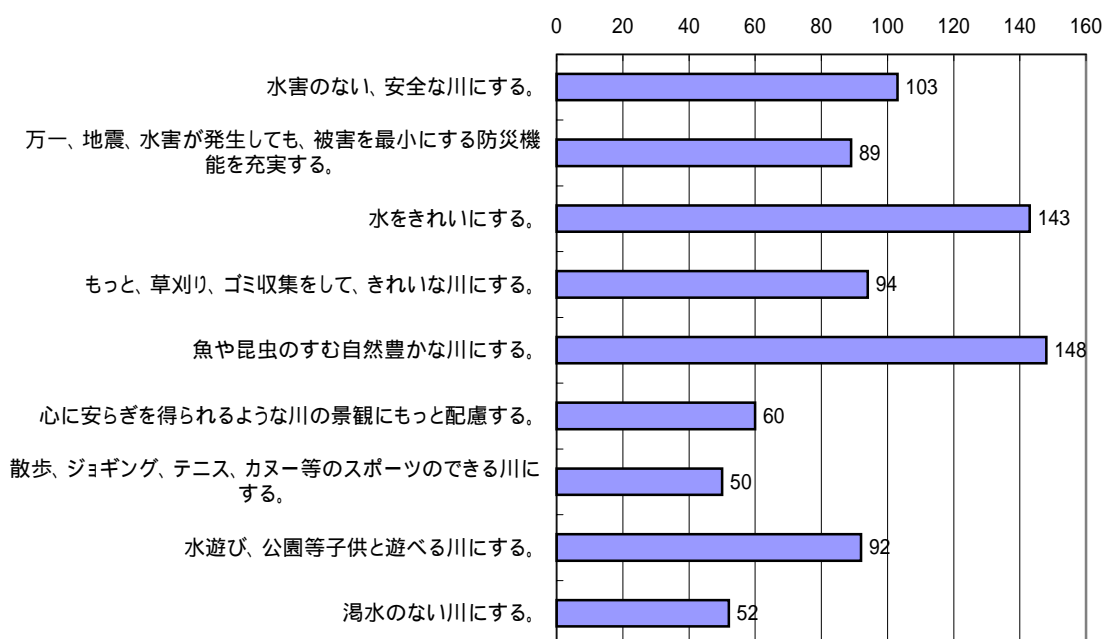
- ・問5. 洪水に対する防災として、どんな情報があなたにとって必要ですか。該当項目を で囲んでください。

総合計



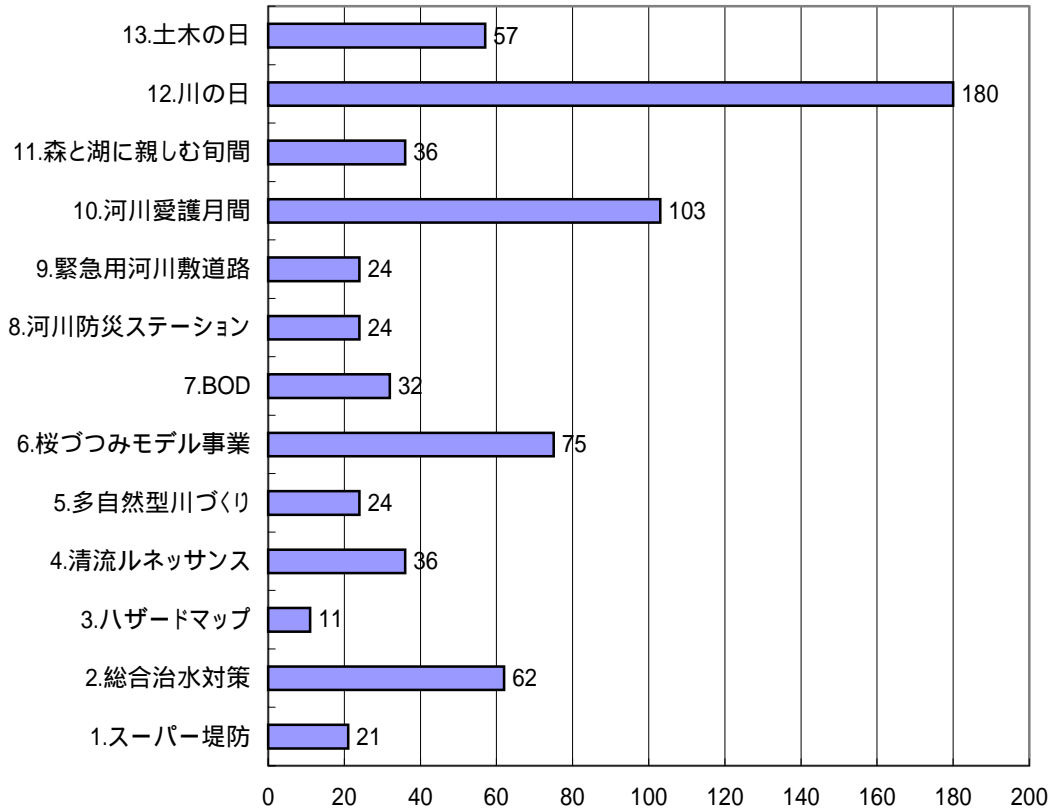
- ・問6. 損保川をどのようにしたら良いとお考えですか。以下の項目から最大3つまで選んでください。

総合計



・問7. 次の言葉で、聞いたことのあるものを で囲んでください。

総合計



3 . 川づくりへの参加に関する住民意識調査

(1)目的

清流ルネッサンス21事業により水質が改善された揖保川・林田川の、今後の河川環境整備にあたっては、地域とのコミュニケーションを密接に図りつつ住民・NPO等の参加を得ることが求められている。このため、川づくりに関わる活動への住民の参加意向や、河川管理者への要望等を把握することを目的にアンケート調査を実施した。

(2)対象者

アンケート配布対象者は姫路市、龍野市、太子町、揖保川町、御津町の、河川周辺に居住する15歳以上の住民とし、住民基本台帳より無作為抽出した。配布数は5市町合わせて5,400票とした。

流域区分	行政区分	上下流左右岸区分	地区別配布数		
			隣接地区 (河川に面した地区)	背後地区 (隣接地区に接する地区)	周辺地区 (それ以外の地区)
林田川流域	龍野市	林田川上流	300		
		林田川下流	300		
	太子町	林田川左岸	300	300	300
揖保川流域	姫路市	揖保川左岸	300	300	300
	龍野市	揖保川左岸		300	
		揖保川右岸	300	300	300
	揖保川町	揖保川右岸	300	300	300
	御津町	揖保川右岸	300	300	300

(3)調査事項

- ・清流ルネッサンス21事業の取り組み内容の認知度
- ・河川に関わる取り組みに対する協力の意向
- ・同上の協力の条件等
- ・川に関する行事等への参加意向
- ・地域づくり活動等への参加経験
- ・普段の揖保川、林田川の利用状況
- ・揖保川、林田川の環境整備の方向性
- ・属性、自由意見等

(4)調査方法 アンケート調査票の郵送配布、郵便回収

(5)実施期間 発送：平成13年2月9日 ~ 回収締め切り：平成13年2月28日

(6)回収率 配布数：5,400 回収数：1,767 有効回答数：1,752 回収率：32.4%

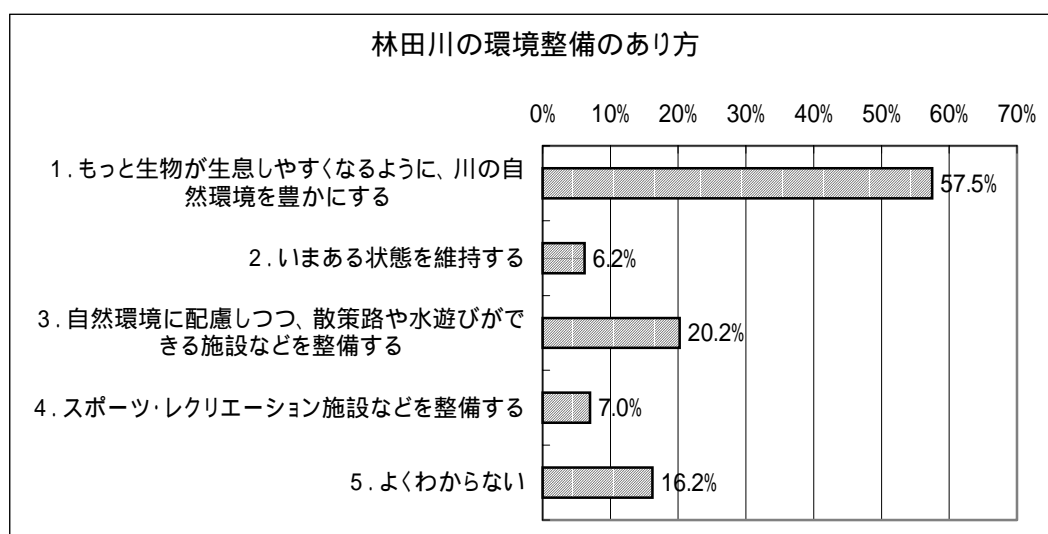
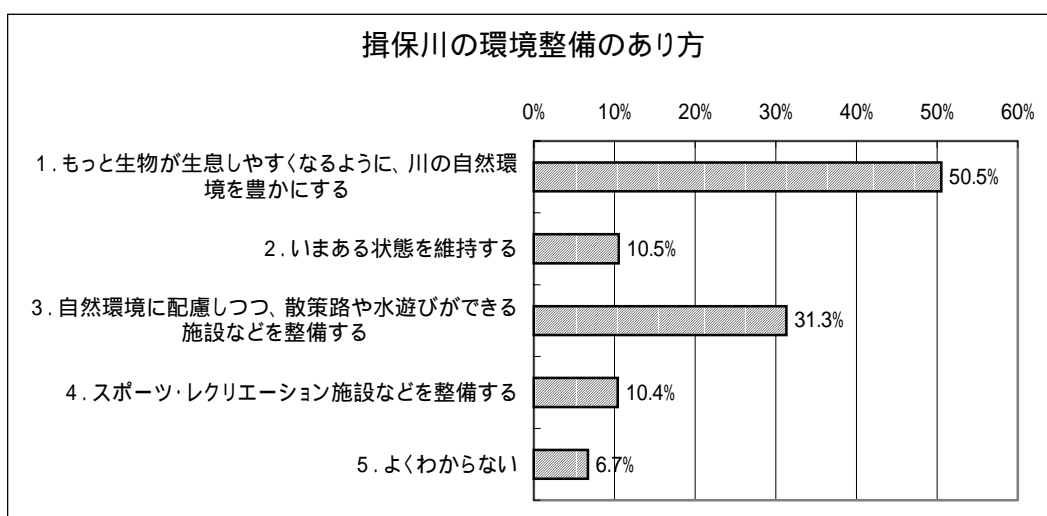
(7) 調査の結果

河川環境整備の方向性

これからの揖保川・林田川の環境整備のあり方に対する意識は、以下の通り。

生物が生息しやすくなるよう、さらに自然環境を豊かにしたいと考える人が過半数を超えている。特に林田川でその傾向が強い。

自然環境に配慮しつつ、散策路や水遊びができる施設等を整備してほしいと考える人がこれに続き、特に揖保川でその割合が高い。



揖保川・林田川における取り組みに対する地域住民の協力意向

表 川に関わる取り組みに対する地域住民の協力意向

取り組みの内容	協力したい又は条件が合えば協力したい人の割合(%)	地区別の特性
1)川や河川敷をきれいに保つ清掃や草刈り等	74.8	揖保川の本川に面した地区が比較的多い
2)災害時などのボランティア活動	71.2	平均して多いものの、太子町と姫路市の河川から離れた地区では少ない
3)川や河川敷へのゴミや廃棄物の投棄の監視活動	57.3	太子町の林田川に面した地区、及び御津町の本川沿いの地区が比較的多い
4)川の水質の定期的な観察・記録	56.1	総じて、河川に近い地区ほど多い
5)行政や市民活動団体が行う、川に親しむ活動やイベントの実施の指導、作業補助等	54.0	太子町の背後地区が比較的多く、逆に周辺地区が極端に少ない
6)川の生物の定期的な観察・記録	53.3	揖保川町の周辺地区が比較的多く、その他は河川から遠い地区ほど少なくなる
7)生物生息環境や観察の場などの整備計画づくり	51.1	姫路市の本川沿い地区が比較的多い
8)教育・学習活動への指導、作業補助等	51.1	姫路市の本川沿い地区が比較的多い
9)環境学習プログラムなど、活動の企画づくり	47.4	姫路市の本川沿い地区が比較的多い。河川から遠い周辺地区は総じて少ない
10)生物生息環境や観察の場の監視や利用の管理活動	47.0	揖保川町の周辺地区、太子町の背後地区、御津町の本川隣接地区が比較的多い
11)市民活動団体等が行っている既存の活動への助言や、地域で活動を展開する場合の世話	44.2	河川に近い地区に比較的多い
12)教育・学習活動の主催・運営	43.1	姫路市の本川沿い地区は比較的多いが、周辺地区は総じて少ない
13)川の環境についての、地域の人々の意見や要望をとりまとめる作業(窓口係、意見の収集等)	39.2	平均しているが、太子町と御津町の周辺地区では特に少ない
14)揖保川・林田川の環境や川での活動に関する、インターネット等による情報交換のネットワークづくりやその運営	31.0	全体的に少ない
15)地域の人々や川を訪れる人々を対象とする揖保川・林田川の環境・歴史等の解説活動(ガイド等)	30.5	全体的に少ないが、河川から遠い周辺地区は特に少ない

対象地域全体の傾向としては、以下の項目への協力意識は高い。

「清掃や草刈り」、「ゴミ・廃棄物投棄の監視活動」等の河川管理に関わる活動
 「川の水質の定期的な観察・記録」、「川の生物の定期的な観察・記録」等の川の環境のモニタリング
 「災害時などのボランティア活動」、「行政や市民活動団体が行う、川に親しむ活動やイベントの実施の指導・作業補助等」のボランティア的な活動

地区別の特性は以下ようになる。

姫路市では、揖保川本川に隣接する地区において、

- ・「生物生息環境や観察の場などの整備計画づくり」
- ・「教育・学習活動への指導、作業補助等」
- ・「環境学習プログラムなどの活動の企画づくり」

等へ協力してもよいと考える住民が、他の地区に比べて相対的に多い。

太子町では、林田川に隣接する地区では、

- ・「川や河川敷へのゴミや廃棄物の投棄の監視活動」

背後地区では、

- ・「行政や市民活動団体が行う、川に親しむ活動やイベントの実施の指導、作業補助等」

へ協力してもよいと考える住民が、他の地区に比べて相対的に多い。

龍野市では、揖保川の左岸側の地区で、

- ・「災害時などのボランティア活動」
- ・「川の水質の定期的な観察・記録」

へ協力してもよいと考える住民は、他の地区に比べて相対的に多い。

揖保川町では、揖保川本川に隣接する地区で、

- ・「清掃や草刈り等」

周辺地区では、

- ・「川の生物の定期的な観察・記録」
- ・「生物生息環境や観察の場の監視や利用の管理活動」

へ協力してもよいと考える住民は、他の地区に比べて相対的に多い。

御津町では、全体的に、

- ・「災害時などのボランティア活動」
 - ・「清掃や草刈り」
- へ協力してもよいと考える住民が相対的に多い。

特に、揖保川本川沿いの地区では、

- ・「川や河川敷へのゴミや廃棄物の投棄の監視活動」

へ協力してもよいと考える住民は、他の地区に比べて相対的に多い

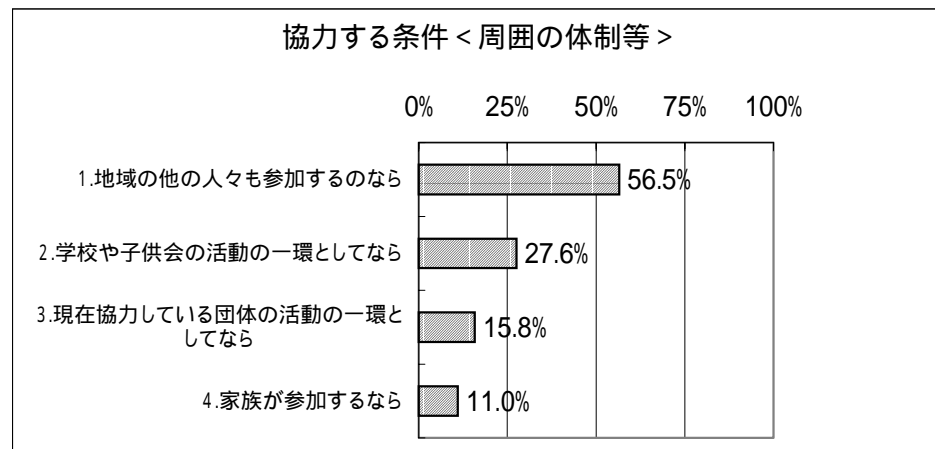
以上のことから、次のことが言える。

揖保川・林田川に隣接する地区では、清掃・草刈り及びゴミ・廃棄物投棄の監視活動などの、河川管理に関わる活動への協力への理解は比較的得られやすいと考えられる。

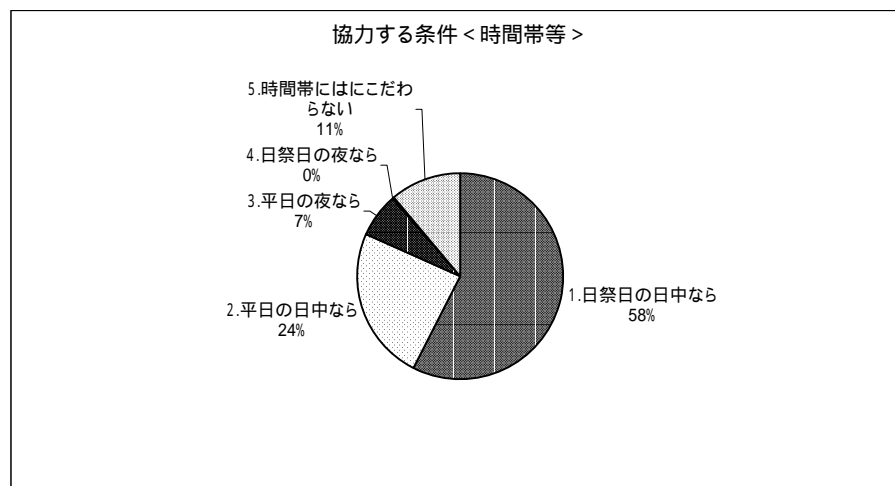
生物生息環境や環境学習に関わる活動への計画段階からの参加は、約半数の住民が関心を示しており、その中でも姫路市の揖保川本川に面した地区の住民意識は比較的高い。

取り組みに対する協力の条件

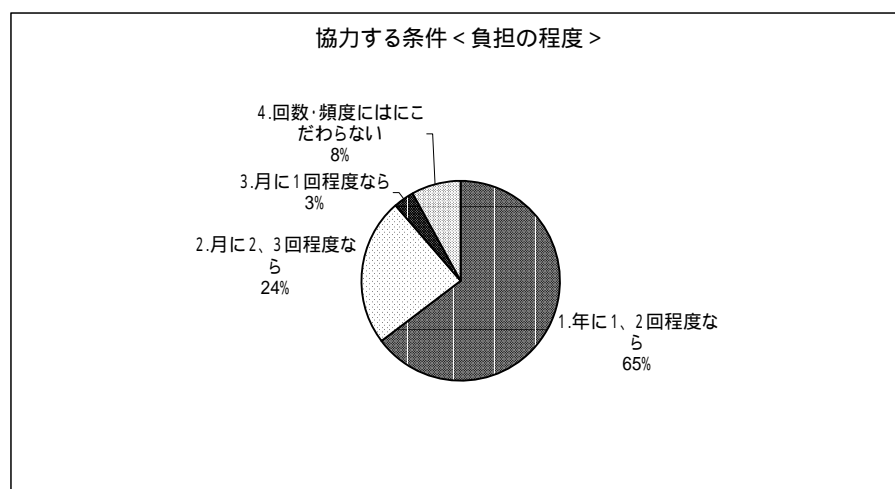
周囲の体制等



負担の程度等

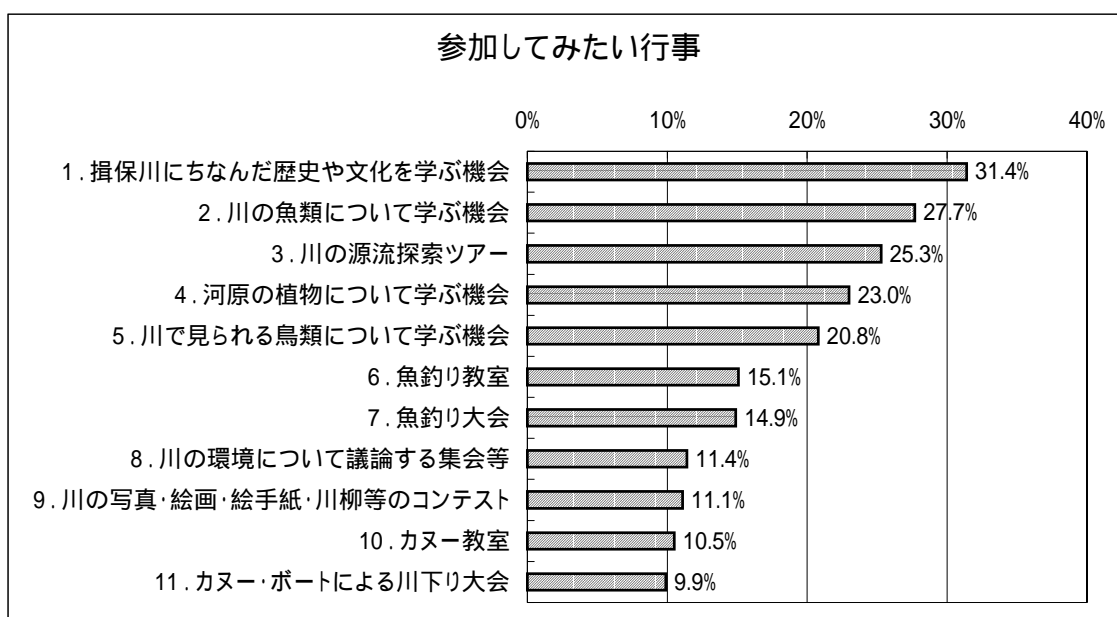


協力できる時間帯



参加してみたい行事等

イベントや行事等への参加を想定した意識は、対象地域全体の傾向としては、以下の通り。



次のようなタイプのイベントや企画に対する参加意識が高い。

揖保川にちなんだ歴史・文化を学ぶ機会

河川の魚類・鳥類・植物等の自然について学ぶ機会

源流の探索など、水系についてより深く知る体験行動